


JICA海外協力隊

よくあるご質問





**よくあるご質問**  
-活動について-



# 現地の安全対策について、 教えてください？

## ANSWER

**JICA海外協力隊は、隊員が活動可能な  
安全な地域にしか派遣されません。**

また、以下の対策をとっています。

- ・安全情報提供
- ・通信連絡手段の確保
- ・住居防犯対策
- ・緊急事態への対応





# 費用はかかるの？

## ANSWER

**現地での活動に必要な費用は受入国政府（あるいは配属先）やJICAが負担します。**

JICA負担費用（例）：

- 赴任時・帰任時の往復渡航費
- 現地での住居費
- 現地での生活費
- ケガや病気には労災保険と国際協力共済会給付事業でカバー  
※既往の傷病については医療費が出ません



# 経済的な負担が心配です。

## ANSWER

**派遣の際に必要な渡航費や現地生活費、  
住居費はJICAが支給するほか、  
派遣中と帰国後に以下の手当を支給します**

### 【派遣中】

- 国内手当（月額×派遣期間） ※訓練中も支給されます
- 経験者手当（月額×派遣期間） ※シニア案件で派遣の方のみ

### 【帰国後】

- 協力活動完了金（月額×派遣期間） ※有給休職での参加者は支給対象外です





**よくあるご質問**  
-応募・選考について-



**語学力が心配です。**

## **ANSWER**

**英検 3 級  
TOEIC<sup>®</sup> 330点以上**

**で応募可能です。**

他の言語でもDレベル(日常会話程度)以上で応募可能です。  
2018年春募集合格者の約半数（48.14%）が  
Dレベルの語学力でした。



**合格後、合宿形式で  
約70日間、語学を中心に訓練を受けます。**

- **少人数制、講師による徹底した指導**
- **日常会話程度はマスターします**

**また、現地に派遣後、  
1カ月程度の現地訓練・研修もあります。**

**※期間は派遣国によって異なります。**



# 約70日間の合宿形式での訓練内容

語学	活動や生活に必要なとなる語学の基礎的知識と実践力を身に付ける。
JICA海外協力隊の基礎	JICA海外協力隊に必要な態度や心構えと途上国で生活する術を身に付ける。
活動手法	現地で活動する際に活用できる手法を学び、学んだ内容をグループワークや所外活動等で実践することにより、現地で活用できるようになることを目指す。
社会的多様性理解・活用力	任地の事情を理解し、現場に適応できるようになることを目指す。
健康管理・安全管理	任地での活動の基礎となる健康管理と安全管理に関する知識を身に付ける。
各種オリエンテーション	訓練所の概要や規則、手続きを理解する。また、赴任手続き、赴任前に行う各種行事等について理解し、赴任の準備を整える。



今の仕事を辞めずに  
参加できますか？

## ANSWER

勤務先の了解を得られれば、  
勤務先に身分を残して参加することが可能です。  
そのために、JICAとして「現職参加促進制度」や  
「派遣期間選択制度」など、今の仕事をやめずに  
参加できるよう制度を整えています。

※現職参加を希望する方は、応募することについて  
あらかじめ所属先の上司などに相談されることを強くお勧めします。





人気のシゴトは、  
倍率が高いのでは？

## ANSWER

**JICA海外協力隊の選考は、  
受験者同士の競争ではありません。**

希望したシゴト（要請案件）の活動ができるかどうかと、健康状態で判断しています。そのため、要請数に対して応募者数が上回っていても、合格者数が要請数よりも少ないことがあります。